

HOT NEWS

都議会ネット

- 2015年度予算特別委員会の総括質疑およびしめくり総括質疑。
- 「2015女性と政治キャンペーン」(全国フェミニスト議員連盟)参加。
- 「東京都障害者計画」および「第4期東京都障害福祉計画」策定。「東京都高齢者保健福祉計画」(第6期)策定。

地域ネット

- 狛江ネット**
吉野よしこ・山本あき子 ワイワイ集会 3月14日(土) 13:00～ 狛江駅北口
- 国立ネット**
小川ひろみ・前田せつ子・はしもと一葉 いまこそ地域から平和を!市民集会 3月14日(土) 14:00～ 国立駅南口
- 小平ネット**
小平から未来を奏でる～音楽と朗読の夕べ～ 3月14日(土) 19:00～ ルネこだいらレセプションホール アピール:日向みさ子、平野ひろみ、さとう悦子 参加費:500円
- 江戸川ネット**
それゆけ!市民のつどい～2015年政策発表集会「えどがわ未来会議」 3月15日(日) 14:00～ タワーホール船堀2階「桃源」基調講演:田中優さん(環境運動家) / アピール:本西みつえ、伊藤ひとみ
- 府中ネット**
わくわく市民のつどい2015 3月15日(日) 14:00～ 府中グリーンプラザ大会議室 講演:白井和宏さん(市民セクター政策機構専務理事) / アピール:田村ちえみ、泉ちず子、西のなのお美
- 板橋ネット**
五十嵐やす子 未来への集い 3月15日(日) 15:00～ ときわ台駅北口
- 世田谷ネット**
植田靖子 街頭報告集会 3月29日(日) 15:00～ 用賀駅前
- 昭島ネット**
おおたけ貴恵・篠原ゆか 街頭報告集会 4月5日(日) 12:00～ 昭島駅北口 発言:竹村英明さん(脱原発政治連盟「緑茶会」代表)
- 品川ネット**
田中さやか・吉田ゆみこ 街頭報告集会 4月11日(土) 14:00～ 大井町駅西口
- 杉並ネット**
そね文子・奥田雅子 街頭報告集会 4月11日(土) 14:00～ 荻窪駅南口
- 豊島ネット**
村上のり子 街頭報告集会 4月11日(土) 14:00～ 池袋駅西口広場
- 八王子ネット**
前田よしこ はつらつ市民集会 4月11日(土) 16:00～ 京王線南大沢駅前/なるみゆり はつらつ市民集会 11日(土) 17:00～ JR八王子駅北口
- 練馬ネット**
きみがき圭子・橋本けいこ・やない克子 街頭報告集会 4月12日(日) 11:00～ 光が丘駅

2015年統一地方選挙 ひとりにしない 子育て・介護 — 支えあい分かちあう地域社会へ —

東京・生活者ネットワーク代表委員 西崎光子・大西由紀子・池座俊子



東京・生活者ネットワーク新春の集いで、4月の統一選に挑戦する候補予定者とともに決意を述べる選対長の西崎光子。1月29日

2012年末、再び政権の座について安倍首相は特定秘密保護法強行採決、武器輸出三原則の緩和、集団的自衛権行使容認の閣議決定と数の力で押し切る政治姿勢を鮮明にしている。原発に対する国民の意識は3.11を経て大きく変わった。原発はリスクもコストも最も高いエネルギーであり、国民の生命と自由、幸福を追求する権利とは対極にある未完の技術であることがわかったから。にも関わらず東京電力福島第一原発事故の原因究明も被災者支援も置き去りにしたまま、昨年4月のエネルギー基本計画では、原発を重要なベースロード電源と位置づけ再稼働を

明記。原発安全神話と経済優先の論理が再び押し進められようとしている。立憲主義・平和主義・民主主義からなる国のあり方を根底から覆そうとする安倍政権の大暴走を喰い止め、命と暮らしを守る政治のありべき形を取り戻さねばならない。

現政権の経済施策への懸念が高まる中、格差社会は益々進行し、子育て家庭の相対的貧困率16・3%、ひとり親家庭では50・8%と過去最低を記録。親がいない、家庭に深刻な問題がある子どもたちも大勢いるが、こうした子どもたちに光が当てられることはない。すべての子どもを対象とする子育て・学び支援、シングルマザー支援や非正規雇用・正規雇用の格差是正を急がねばならない。生きづらさ、社会的困難を抱える若者支援、障がいのある人も共に学び、働き、暮らす「ソーシャル・インクルージョン」を地域が

ら実体化するために、支えあい分かちあうことで貧困の連鎖を断ち、子ども・若者が希望をもって生きることができる社会を創りたいと思う。

来る介護保険改正では、焦点となる「地域包括ケア」をどう構築していくか、国の指示通りに進めるのか、必要な財源を分担し合いながら安心して暮らし続けられるためのしくみづくりをめざすのか、自治体も市民の意思も問われている。行政が、医療・介護従事者が、地域に暮らしやす大勢の市民が知恵と力を出しあい、本人と介護者や家族に寄り添う、そういう本當の豊かさを実感できる未来社会を実現に向けてるときだ。

2015年。私たちは今、時代の転換点に立っている。少子高齢化と限られた財源の中、市民はこれまでのような受益者・傍観者ではいられない。地方政治が問われる今、「安心・共生・自治の

新春の集いで講演する、元経産官僚で古賀茂明政策ラボ代表の古賀茂明さん。古賀さんからは、「求められているのは『改革』はきっぱりするが、『戦争』をしないリベラルな政党。東京・生活者ネットワークは、安倍首相が進めようとしている、日本を『戦争のできる国』にする企みに正面からNO!といえる存在である。人権・平和政策にこだわってきた女性が中心のリベラル勢力として、おおいに期待したい」と熱いエールをいただきました



生活者ネットワークは都内34の自治体にあり、それぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区を超えた東京問題・国政問題には全体で取り組んでいます。東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。

生活者ネットワーク3つのルール

- 1 議員は交代制(ローテーション)**
生活者ネットワークの議員は、最長でも3期12年で交代します。議員を職業化・特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。
- 2 議員報酬は市民の政治活動資金に**
生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。
- 3 選挙はカンパとボランティアで**
選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。